



2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 Shinwa Wise Holdings 株式会社
代表者名 代表取締役社長 米田 岳
(東証スタンダード市場・コード 2 4 3 7)
問合せ先 総合企画部長 木村 亜里沙
電話番号 0 3 - 5 2 2 4 - 8 6 1 0
(<http://www.shinwa-wise.com>)

**棚卸資産評価損（売上原価）の計上、特別損失の計上
及び 2026 年 5 月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ
並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ**

当社は、2026 年 5 月期において棚卸資産評価損及び特別損失を計上するとともに、2025 年 7 月 11 日に公表しました 2026 年 5 月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2026 年 5 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上について

当社グループは、期末の決算手続における個別の査定により、保有する棚卸資産（商品）のうち長期滞留品等について、期末時点における正味売却価額が帳簿価額を下回ったことから、収益性の低下に基づく簿価の切下げを行い、棚卸資産評価損 58,230 千円を計上いたしました。当該評価損は、市場環境及び各作品等の直近の取引動向等を踏まえて算定した正味売却価額に基づくものであり、連結損益計算書上は売上原価に含めて計上しております。

2. 特別損失の計上について

当社グループは、当連結会計年度において、訴訟の遂行に関連して発生した費用として訴訟関連損失 33,656 千円を、また、保有する固定資産の除却に伴い固定資産除却損 11,203 千円を、それぞれ特別損失に計上いたしました。これらを含む当連結会計年度の特別損失合計額は 46,011 千円であります。

なお、これらの特別損失は当連結会計年度を通じて計上したものであり、第 3 四半期連結累計期間までの計上額は 31,951 千円（訴訟関連損失 28,191 千円、固定資産除却損 2,651 千円等）、第 4 四半期連結会計期間における計上額は 14,060 千円（訴訟関連損失 5,464 千円、固定資産除却損 8,552 千円等）であります。

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. 2026 年 5 月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025 年 6 月 1 日 ～ 2026 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2025 年 7 月 11 日）	百万円 2,312	百万円 80	百万円 80	百万円 55	円 銭 5.01
今回実績（B）	1,577	△144	△161	△237	△21.51

増減額（B－A）	△735	△224	△241	△292	△26.52
増減率（％）	△31.8	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2025年5月期通期）	2,067	12	△17	△142	△13.24

【差異の理由】

売上高につきましては、アート・オークション市場において良品の出し渋り傾向が引き続きみられ、プライベートセール取扱高が大幅に減少したこと等により、前回発表予想を大きく下回りました。

営業損益につきましては、上記の減収に加え、当連結会計年度末において棚卸資産評価損 58,230 千円を売上原価に計上したこと等により、営業損失となりました。

経常損益につきましては、上記の営業損失に加え、支払手数料等を営業外費用に計上したことにより、経常損失となりました。

親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、上記に加え、「2. 特別損失の計上について」に記載の特別損失 46,011 千円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

4. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2025年7月11日公表)	前期実績 (2025年5月期)
基 準 日	2026年5月31日	同左	2025年5月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配 当 原 資	—	—	—

【理由】

当社は、企業価値の向上が株主の皆様への重要な利益還元であると考えており、中長期的な企業価値向上のために必要な内部留保を確保しつつ、財務・業績・事業計画等を勘案し配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、上記「3.」に記載のとおり、当連結会計年度におきましては営業損失 144 百万円及び親会社株主に帰属する当期純損失 237 百万円を計上し、連結上の利益剰余金も欠損となっております。当社といたしましては、収益基盤の回復及び財務基盤の安定を最優先すべき局面にあると判断し、内部留保の確保を優先することとし、誠に遺憾ではありますが、2026年5月期の期末配当につきましては見送ることといたしました。

今後につきましては、収益基盤の回復に最優先で取り組み、業績及び財務状況の回復状況を勘案のうえ、復配について検討してまいります。

株主、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には深くお詫び申し上げます。

（ご参考）年間配当の内訳

	1株当たり配当金（円）		
基準日	第2四半期末	期 末	合 計
当期実績(2026年5月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期実績(2025年5月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以 上